中間評価(1年目)

首都圏3環状道路の効率的な運用 に関する研究開発

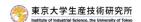
1. 研究の背景と目的

■ 背景

- ■3環状道路の概成
 - 期待効果: → 都心混雑緩和・物流効率化・都心機能再生・構造改変
- ■柔軟でダイナミックな交通管理が必須
 - ■柔軟な料金政策·交通情報/誘導·大型貨物の環状迂回·流入抑制等
- ■大型車物流経路選択特性,物流/商業施設等立地誘導効果

■目的

- ■テーマ1:プローブデータを用いた貨物車の経路選択特性分析
- ■テーマ2:首都圏ネットワーク交通流シミュレーション分析
- ■テーマ3:環状道路整備に伴う物流施設等の立地影響分析
- → 首都圏ネットワーク効率的運用方策の提案 と モニタリングシステム構築



1

2. 研究の実施体制

全体総括:大口(東大)

テーマ1: プローブデータを用いた貨物 車の経路選択特性の分析

- •プローブデータによる経路データの整備と利用経路特性の分析[外注]
- ・経路選択特性の分析[広島大 カ石]
- ・経路選択のモデル化[神戸大 井料]

テーマ2:首都圏の交通流シミュレーションの分析

- ・シミュレーションデータの収集・整備[外注]
- •交通流シミュレーションモデルの構築
 - [長岡技術科学大 西内,東大 和田]
- ・政策シミュレーションの実施[首都大 小根山]

テーマ3: 首都圏環状道路整備に伴う施設立 地影響分析

- ・立地データの収集・整備と立地特性分析[外注]
- ・立地モデルの構築[宇都宮大 長田]
- ・政策シミュレーションの実施[早稲田大 森本]

首都圏道路ネットワークの効率的運用方策の提案と効果評価

- •首都圏道路ネットワークの効率的運用方策の提案[共同研究者全員で議論]
- ・首都圏道路交通分析ツールの開発[東大 大口・和田]



3. 研究の概要

- 政策的貨物車経路誘導に資する貨物車経路選択行動モデル ■ H26年度: 貨物プローブデータの試験的解析, 既往レビュー
- ■プロトタイプ・シミュレーションによる運用策の検討
 - ■H26年度:プロトタイプ・シミュレーションの構築,料金施策評価試行
- 首都圏環状道路整備に伴う施設立地影響分析
 - H26年度:物流施設など施設立地データを収集し, 既存資料・文献等より物流施設の立地特性・要因を把握

■ 首都圏ネットワークの効率的運用策の提案

- ■立地誘導施策·物流大型車経路誘導·動的交通運用施策の組合せによる交通流最適化
- ■大規模イベント(2020年東京オリンピック・パラリンピック時), 3環状建設時の建設・施工, 大型車の誘導, 交通事故・災害時の対応を最適化



2

4. 研究の進捗状況

- ■貨物車プローブデータによる新規知見の可能性を確認
- 入手可能データを用いたプロトタイプ・シミュレーションの有効性を確認
- 大規模物流施設の立地特性の把握と動的シミュレーションと の連携可能性の確認
- 予算圧縮制約の下で実行可能な範囲の目標は十分に実現

5. 今後の見通し

- H27年度:主に大量なデータを処理,分析してモデルの確立, 検証を行うとともに,施策オプションをモデル化
- H28年度:施策ごとのシミュレーション分析・評価と比較検討
- ■貨物車/乗用車プローブ生データ、ETCデータなどの活用による知見の蓄積が必須

